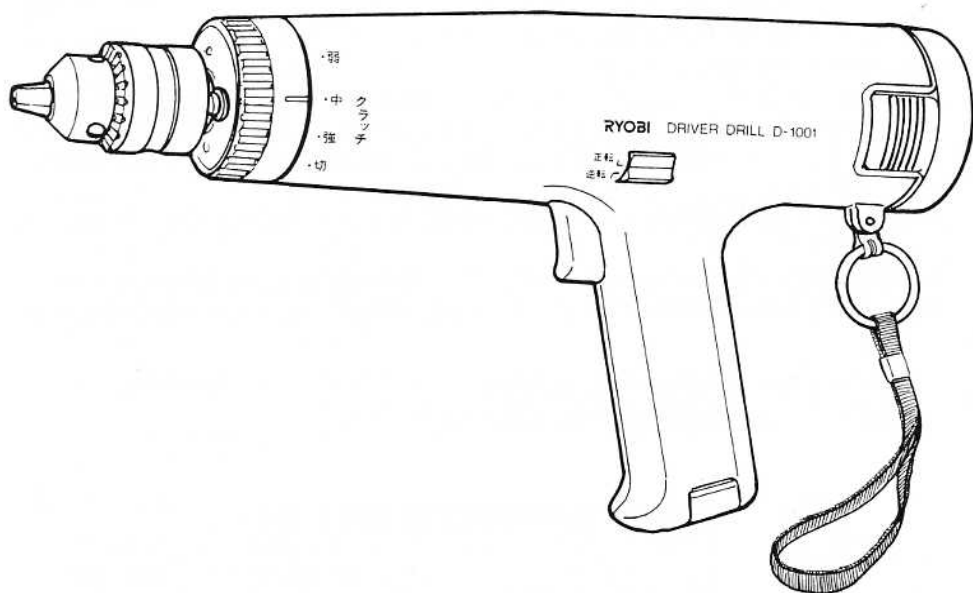


RYOBI®

充電式ドライバドリル

D-1001

取扱説明書



●改良のため製品仕様が変わる事があります。

■ご使用に当たりましたの注意事項

ご使用前には必ず取扱説明書を十分お読みいただき、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

- 雨の中、ぬれた場所、ほこりの多い場所等での充電はしないで下さい。
- 万一の用心のため、保管中は、回転数切換スイッチを中央のOFF位置にセットして下さい。
- 壁や床等の電気配線がしてある箇所に穴をあける時は、あらかじめ配線の位置を確認し刃物の先端が誤って配線に接触しないよう、十分注意して下さい。
また、万一刃物が電線等に触れたときでも感電事故とならないよう作業中はプラスチック製のハンドルや、フレーム部分を持つようにして下さい。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落としたり、ぶついたりした場合は異常の有無を確認した後にご使用下さい。
- 運転中は刃物や可動部には絶対に手を触れないでください。大変危険です。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。刃物は常に良い切れ味にしておき、回転を上げた後に加工を始めて下さい。
- 安全な作業をする為には、作業場はいつもきれいに整理整頓を心掛け、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業時の服装は、作業に合った身軽なもので行って下さい。ネクタイや袖口の開いた服装は機械の可動部に巻き込まれる恐れがあり危険です。
- 本機はお子様の手の届かない所に保管し、湿度の高い所や雨のかかる所、直射日光のあたる所は避けて下さい。
- 調整用の工具類（チャックハンドルなど）は、使用后すぐに外すようにして下さい。
- スイッチを入れる前には、刃物やドライビットが確実に取付けられているかを、よく確認して下さい。中途半端な取付けでは運転中に刃物が抜け落ちたり、折損する場合があります。大変危険です。
- 作業中は、安全メガネなど必要な保護具を着用して下さい。ほこりの多い場所ではマスクも必要です。
- 運転中に機械の調子が悪かったり、異常に気付いた時には、直ちに使用を中止して下さい。
- 安全で能率の良い作業をしていただくためには、作業前の機械の点検や定期点検が必要です。

定期点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービパワーツール取扱販売店、もしくは最寄りのリョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。



Ni-Cd

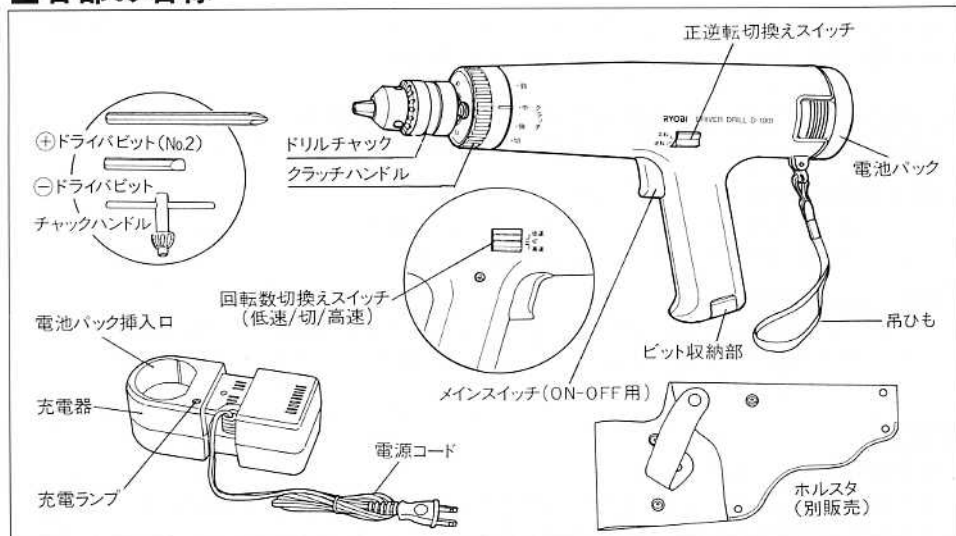
■ニカド電池の回収にご協力ください。

左のマークはリサイクルができるニカド電池を使用している事をあらわしています。リョービグループでは、稀少資源のリサイクル活動と環境保護のため、使用済みのニカド電池の回収を行なっています。

不要になったニカド電池（電池パック）は、お買い求めの販売店、またはリョービ販売(株)営業所にお持ちくださるよう、お願いいたします。

ご注意 不要になった電池パックをそのまま放置されますと、端子部分のショートにより発熱する事がありますので、端子部分にビニールテープなどを巻いて短絡防止をしてください。

■各部の名称



■仕様

(本体)

本体モデル	D-1001
無負荷回転数	(低速)300rpm/(高速)600rpm
穴あけ能力	鉄工6.5mm/木工13mm
最大トルク	約60kg-cm
クラッチ作動トルク	(低)15kg-cm/(中)20kg-cm/(高)25kg-cm
モーター電圧	DC7.2V
チャック能力	1.5~10mm
使用電池バック	B-723D(1300mAh)
付属充電器	BC-72D
本体重量	1.2kg (電池バック含む)

(充電器)

充電器モデル	BC-72D
電源	AC100V・50/60Hz
定格出力電圧	DC9.0V
消費電力	22VA
標準充電時間	約60分
電源コード長さ	1 m
重量	0.7kg

●(注意) ●電池バックは輸送中の放電を防ぐため、充電しない状態で出荷しています。最初は必ず規定時間、充電された後にご使用下さい。

●充電時間は電池容量のバラツキや、活性化の度合い、充電状態等により、標準充電時間より長くなる場合があります。

●通常付属品

〈標準モデル〉

- ⊕ドライバビット (No.2-90mm)
- ⊖ドライバビット (45mm)
- チャックハンドル
- 充電器 (BC-72D)
- スチールケース

〈ケースなしモデル〉

- ⊕ドライバビット (No.2-90mm)
- ⊖ドライバビット (45mm)
- チャックハンドル
- 充電器 (BC-72D)

●特別付属品 (別販売)

- ホルスタ

■用途

- 各種木材、金属、樹脂板などの穴あけ。
- 各種小ネジ、木ネジ、ナットなどの締付け、ゆるめ。

●1回のフル充電による使用能力の目安（周囲温度20℃）

*電池パックの電池容量、相手の材質、周囲の温度等により変動がありますので、一応の目安として下さい。

●ネジ締付け数

- | | |
|---|-----------|
| 1) $\phi 3.5 \times 20$ mmの木ネジをラワン材に締付けた場合。 | 約420~500本 |
| 2) $\phi 3.5 \times 20$ mmの木ネジをスギ材に締付けた場合。 | 約580本 |

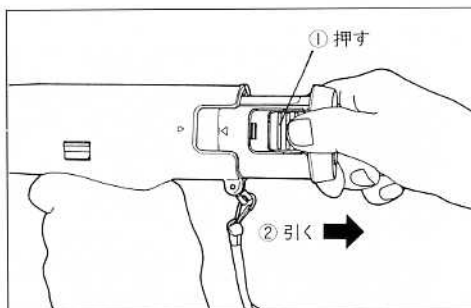
●ドリルの穴あけ数

- | | |
|---|-------|
| 1) $\phi 9$ の木工ドリルでラワン材、板厚20mmに穴をあけた場合。 | 約330個 |
| 2) $\phi 4.5$ の鉄工ドリルでアルミ板に穴をあけた場合。 | 約110個 |

■充電

- 充電時間は約1時間です。
- 充電中は充電器本体に多少熱を持ちますが、性能には影響はありません。
- エンジン発電機からは、充電しないで下さい。

- 充電式ドライバドリル本体の後部に取り付けてある「電池パック」を抜き取ります。電池パックの両端のツマミ部を同時に指で押えて、電池パックを後方に抜き取ります。

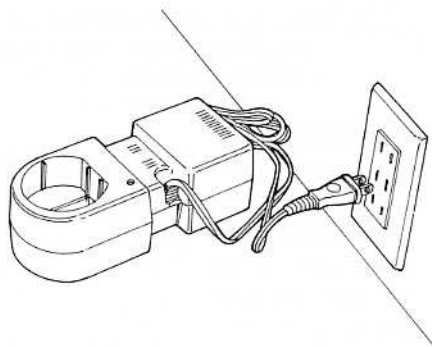


- 充電器を落下などの恐れのない、安定したところに置いた後に、充電器の電源コード先の電源プラグを、AC100ボルトのコンセントに差し込み、電源を接続します。

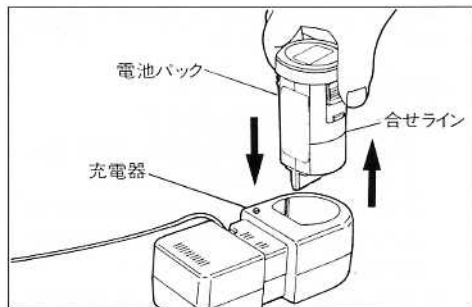
（ご注意）

充電器の電池パック差し込み口の内部に、ピンや釘などの金属片が誤って入っていないことを確認しておいて下さい。

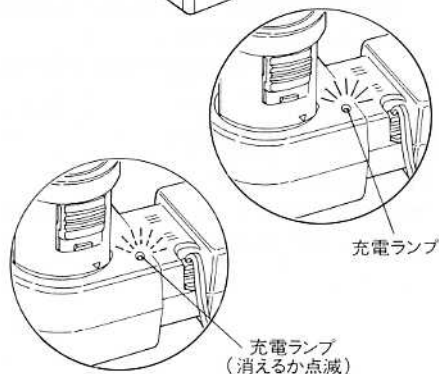
内部の金属端子部に、これらが入っていると、ショートなどの事故の原因となることがあります。



- 充電器の電池パック接続口の形状に合せ、先に充電式ドライバドリルより抜き取った電池パックを差し込みます。電池パックが充電器の底に当たり、電池パックの横の合せラインが、充電器の上面と一致するまで、確実に差し込んでください。



- 標準充電時間は約1時間です。充電中は充電ランプが点灯し、充電中であることを知らせます。
- 完全に充電するには、最低1時間の充電が必要ですが、電源電圧が低い場合は、多少長く時間がかかります。
- ご使用直後の温度上昇した電池パックを充電されると、十分に充電されない場合があります。
- 充電ランプが点灯しない場合は、電池パックと充電器の接続箇所にごミなどが付着している場合がありますので、お確かめ下さい。



ご注意

周囲温度が0℃以下や、40℃以上の時は十分な充電が出来ませんので、充電しないで下さい。

- 充電が完了すると、充電ランプが消えるか、点滅をして知らせます。
 - ・ 充電完了後は内部の電子スイッチが自動的に働き、過充電を防止します。

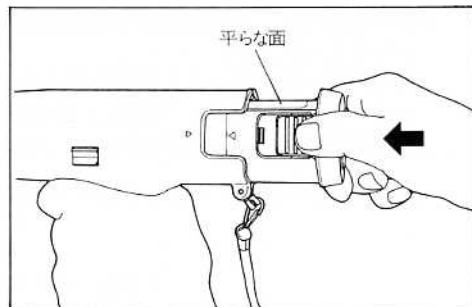
ご注意

電子スイッチが働き過充電を防止しますが、長時間そのまま放置しますと充電器内部の電子回路に影響をおよぼすことがあります。一定の時間を経過した電池パックは抜き取るようにして下さい。

- 充電が完了しましたら、電池パックを充電器から抜き取り、充電式ドライバドリル本体に差し込んで下さい。充電式ドライバドリル本体に電池パックを差し込むときは、内部の端子の形状に合わせて、抜け落ちる事の無いように、確実に差し込んで下さい。

ご注意

付属の充電器以外では、絶対に充電しないで下さい。また、充電器を他の器具や用途にご使用にならないで下さい。



- 充電が終わりましたら、速やかに充電器の電源プラグをコンセントから抜き外して下さい。

●電池の寿命について

- 蓄電池には寿命があります。

普通1日に1~2回充電して約1年~1年半(およそ500~600回)ですが、使用条件によっても異なります。

正しく1時間充電しても50本程度のネジ締めしか出来ない場合や、いちじるしく能力が落ちてきたとお思いの時は寿命がきたものとお考えいただき、新しい電池パックをお買い求め下さい。

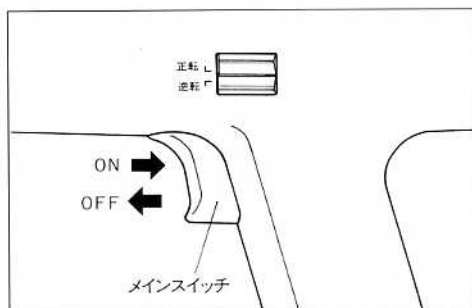
- 電池パックを充電しないまま半年以上放置されますと、蓄電池が自己放電しつくし、蓄電池性能が劣化し寿命を短くしますので、必ず半年を経過する前に、ご使用にならなくても充電をして下さい。

(およそ4~5ヶ月に一度は充電されることをお勧めいたします。)

■スイッチの操作

●メインスイッチ

- 操作はメインスイッチを引くと入り(ON)、離すと切れ(OFF)ます。



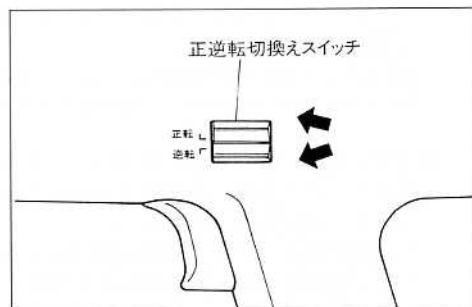
●正逆転切換えスイッチ

(注意)

メインスイッチを入れた状態の時に正逆転切換えスイッチの操作をしないで下さい。

- ネジの締め付け、ゆるめに合わせて回転方向が変えられます。

本体側面に付いている正逆転切換えスイッチを表示の「正転」「逆転」に合わせ、任意の方に押し込んで下さい。

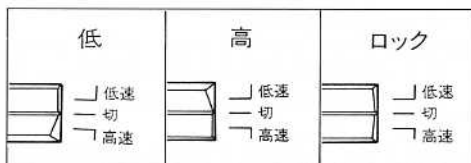
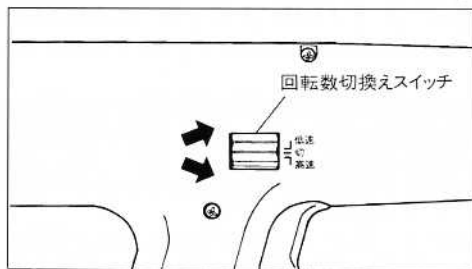


●回転数切換えスイッチ

- ネジや加工材の硬さなど、用途に合わせて回転数を「低速の、300回/分」と「高速の、600回/分」の2段階に切換えることができます。

回転数を変えるときは、本体側面の回転数切換えスイッチを「低速」、または「高速」側に押して操作します。

- 1回のフル充電での作業量は「高速」より「低速」の方が多く出来ますので特にスピードを必要としない場合は「低速」を使用されることをお勧めします。
- 中間の「切」の位置にされますと、メインスイッチを操作してもスイッチは入りません。
(ロック状態でモーターは回りません。)
ビットやキリの交換、取付の際、また保管や輸送時にはこの「切」の位置にセットして下さい。

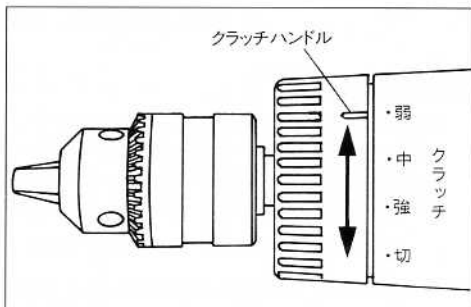


■クラッチの切換え

- ネジ締めをする場合に、ネジ締め対象物やネジ径に合わせてクラッチのトルクを切換え設定することが出来ます。

クラッチハンドルを回転させて、クラッチハンドル側の指示線を本体の「弱」、「中」、「強」、「切」に合わせて調節します。

- *クラッチが「切」の位置に入らない(合わない)場合は、一度「弱」の位置に戻してから、ドリルチャックを手で少し回します。
つぎに、再度クラッチハンドルを回して「切」に合せるようにします。



〈材料別クラッチの調整位置の目安〉

*対象物の条件により多少異なりますので、ご使用前にはテストをされた後に加工に入って下さい。

「弱」：プラスチック、やわらかい天井材やベニヤ板などのネジの締付けなど。

「中」：端子ネジなどの締付けなど。

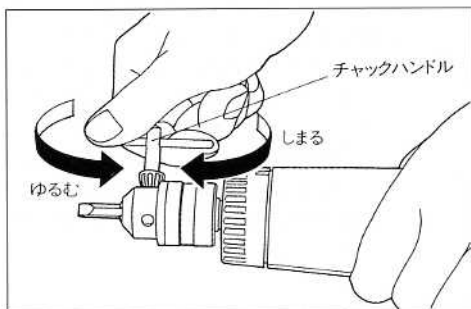
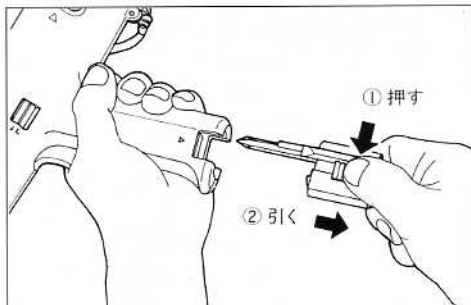
「強」：かたい木質へのネジの締付けなど。

「切」：強力なネジ締め、ドリルとして使用するときなど。

■ドライバビット、キリの取付け

*取付け前に回転数切換えスイッチを「切」の位置にしておいて下さい。

- ハンドル下のビット収納部の両側面を指で押えながら下方へ引っ張り、ビット収納部を抜き外します。
 - ビット収納部の中央に入っているチャックハンドルを抜き取ります。
 - チャックハンドルをドリルチャック側面の3ヶ所のいずれかの穴に差し込み、左にまわしてドリルチャックのツメを広げます。
 - ドライバビット、またはキリをツメの部分に奥まで差し込みます。
 - つぎにチャックハンドルを、ドリルチャックの3ヶ所の穴のいずれかに入れてから、チャックハンドルを右方向にまわして強く締付けます。
- このとき、ドリルチャックの3ヶ所の穴に、順にチャックハンドルを入れ、均等に締付けるようにして下さい。
- 使用後のチャックハンドルは、ビット収納部の中央に収めた後に、ビット収納部を本体のハンドル下に戻してセットします。



- 吊ひもの利用 充電式ドライバドリルを使用されるときの落下防止のため利用して下さい。
 - 吊ひもを手に通した後にハンドルを握って使用します。

■保管について

- 電池パックの取扱いには充分ご注意下さい。
 - 端子部分に釘など金属が触れますとショート事故となります。
 - 本体に付いた汚れを取り除き、いつでも清潔な状態でご使用できるようにしておいて下さい。本体に付いた汚れは、清潔で乾いた布で拭き取って下さい。
- (注意) ガソリンやシンナー、溶剤などで拭くことはしないで下さい。変色や変形の原因となります。
- 保管は、お子様の手の届かないところで、湿度の高いところや雨のかかるところは避けて下さい。また、直射日光のあたるところや高温となる車中には放置しないで下さい。

この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、その他取扱上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、または最寄りのリョービパワーツール取扱販売店もしくは最寄りのリョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。